

よみがえれ！
有明訴訟弁護団
(後藤富和)発行
092-894-1781
090-9602-0700

農水省は今こそ英断を！

国会議員 開門要請



2日、有明海沿岸4県(長崎・佐賀・福岡・熊本)の漁業者が上京し、農水省に開門を求めた。この日、農水省前には、30名を超える有明海漁業者らが集まり、漁業者の置かれた窮状と開門に対する期待を語った。
また、農水省前には多数の超党派の国会議員が集まり、農水省に対して、開門決断を迫った。

田中康夫新党日本代表

新党日本の田中康夫代表は、農水省の役割は、農水林業者の幸せを増進すること、しかし実際は農水土木の意地を張っているだけで本末転倒である。司法判断に従わない農水省は三権分立を曲解している。水門を開けば、漁業だけでなく農業にも役に立つと述べ、「至らなさを認めるに如く(しく)はなし」と、農水省の決断を迫った。

大串博志議員(民主)

民主党の大串博志議員(衆・佐賀)は、農水省の開門否定理由は「開門すれば予期せぬ被害が生じる」というものであるが、予期せぬ被害の内容については「予期せぬ被害だから分からない」と禅問答を繰り返すだけ。その姿勢が信義則違反と糾弾されたと厳しく指摘し、サミットで首相は開門決断を語った。



仁比聡平議員(共産)

共産党の仁比聡平議員(参)は、有明海沿岸で漁業者の自殺や心中が相次いでいることを指摘、もはや開門に一刻の猶予もないと、農水省に対して開門を迫った。



タイラギ手に開門を訴える

～農水職員も開門応援～



農水省前の訴えに対し、農水省の職員も口々に「頑張って下さい」「応援しています」と激励の言葉をかけ、中にはカンパをする姿も見られた。

佐賀県議会 開門決議

佐賀県議会は、全会一致で農水省に対し開門を要求する決議を採択した。佐賀県議長は、今後、福岡県議会、熊本県議会にも同様の決議を急いで採択するよう働きかけると語った。これで、有明海沿岸4県のうち、長崎県を除く3県で開門に向けた動きが加速する。

築地市場も開門応援

築地市場の仲卸業者代表者は、諫早干拓によって有明海の魚介類が築地に届かなくなり寂しくなった、東京の市場関係者も今回の判決は喜んで、開門に期待していると語り、自分たちも開門を支援すると語った。